

2022年度

事業報告書

自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

I 公益事業	3
【事業の趣旨】	3
【施設の概要】	3
【事業の概要】	3
1. 展示活動	3
(1) 特別展・企画展	3
(2) 日本庭園	5
(3) ミュージアムショップ	5
(4) 喫茶店	5
2. 美術品の収集、保管及び修理	6
(1) 美術品の購入	6
(2) 美術品の寄贈受入	6
(3) 美術品の寄託受入	6
(4) 美術品の保管	6
(5) 美術品の修理	7
3. 調査研究	7
(1) 調査・研究	7
(2) データベース	7
(3) 研究資料の整備	7
(4) 学術プロジェクトへの参加	8
(5) 美術品の閲覧	9
4. 教育普及	10
(1) 催事	10
(2) インターネットによる広報	11
(3) プレスリリース	11
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット	12
(5) 内覧会・レセプション	12
(6) 施設案内パンフレット	12
(7) 他美術館との協力	12
(8) 地域との連携	13
(9) 有料広告	13
(10) 根津倶楽部	13
(11) NEZUNET	13
(12) 青山茶会	14
(13) 美術品の館外貸出	14
(14) 画像の貸出	16
(15) 施設の貸与	16

II	収益事業	16
	【事業の概要】	16
	1. 不動産事業	16
III	庶務の概要	17
	1. 役員	17
	2. 職員	18
	3. 役員会	19
	(1) 理事会	19
	(2) 評議員会	21
IV	事業報告の附属明細書	22

I 公益事業

【事業の趣旨】

1940年（昭和15年）11月、初代根津嘉一郎（1860～1940）の遺志により財団法人を設立、翌年10月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

本年度もその理念に基づき、特別展2回と所蔵美術品による企画展5回の開催を計画した。2020年度と2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大をうけた緊急事態宣言に基づく都の要請や、状況を鑑みた自粛により、一部展覧会の中止や会期縮小を余儀なくされたが、本年度は全ての展覧会を実施できた。各種の催事も、過去2年間は全て中止したが、感染予防対策を講じ、実施形態を見直した上で、一部を再開した。

引き続き所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を展覧会に反映するとともに、紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、保管環境の整備や修理などにより、美術品の維持・管理に努めた。

【施設の概要】

2009年（平成21年）10月に新創開館した本館は地上2階（展示室1～6など）、地下1階（講堂など）。1990年に建設した展示施設を2007年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上2階、地下1階からなる。2009年度に地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館2階屋根上の252枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用にも努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室4棟があり、各所に石造物約150件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

（1）特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。特別展「燕子花図屏風の茶会—昭和12年5月の取り合わせ—」会期中の5月10日から15日までの6日間は、午後7時まで開館時間を延長した。また、入館者数のコントロールと、事前決済による受付のスムーズ化を目的として2020年度の秋に導入したオンライン日時指定予約制を引き続き実施した。

入館料は、特別展一般1,500円、学生1,200円、企画展一般1,300円、学生1,000円とした（いずれも中学生以下は無料）。また、オンライン日時指定予約の利用促進のため、予約をしていない来館者には、上記の入館料に一律100円を上乗せした。障害者手帳提示者と同伴1名及び運転経歴証明書提示者へは1名につき200円の割引を行ったが、次回展の前売券（200円割引）の販売は引き続き中止とした。また、会員証の提示で、ICOM（国際博物館会議）は会員本人、日本博物館協会は会員本人と同伴者1名を無料とした。

2022年度は、開館日数計223日間に、来館者144,885名（うち有料来館129,659名）を迎えた。

展示室1・2では、下記の特別展及び企画展を開催し、同時に、展示室5では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室6では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール～展示室3「仏教美術の魅力」のうち、展示室3は4月16日から日本の小金銅仏と仏具（小金銅仏4軀・銅錫杖頭1柄・懸仏1面）、11月3日からは日本の天部像（4軀）にそれぞれ展示替えを行った。

展示室4「古代中国の青銅器」では青銅器の通期展示を行うとともに、展示室の一角に設けた覗きケースでは、4月16日から「天の四方を守護する神々」、9月10日から「唐時代の小さな鏡」、12月17日から「兎をさがせ！」のテーマで中国の鏡を展示した。

特別展および企画展は所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

・特別展「燕子花図屏風の茶会－昭和12年5月の取り合わせ－」 展示室1・2

2022年4月16日（土）～5月15日（日） 展示日数27日間

同時開催「画賛の楽しみ色々」 展示室5

「立夏の茶事－初風炉－」 展示室6

入館者 29,963名（有料 26,785名）

・企画展「阿弥陀如来－浄土への憧れ－」 展示室1・2

2022年5月28日（土）～7月3日（日） 展示日数32日間

同時開催「注文された舶来物」 展示室5

「雨中の茶会」 展示室6

入館者 13,936名（有料 12,191名）

・企画展「よめないけど、いいね！－根津美術館の書の名品－」 展示室1・2

2022年7月16日（土）～8月21日（日） 展示日数32日間

同時開催「歌人のおもかげ－能面と能装束でたどる－」 展示室5

「暑中の涼－夏の茶道具取り合わせ－」 展示室6

入館者 13,407名（有料 11,790名）

・企画展「蔵出し蒔絵コレクション」 展示室1・2

2022年9月10日（土）～10月16日（日） 展示日数32日間

同時開催「陶片から学ぶ－日本陶磁編－」 展示室5

「清秋の一服」 展示室6

入館者 18,588名（有料 16,467名）

・特別展「将軍家の襖絵－屏風絵でよみがえる室町の華－」 展示室1・2

2022年11月3日（木・祝）～12月4日（日） 展示日数28日間

同時開催「彫漆－あこがれの唐物－」 展示室5

「茶人の正月－口切－」 展示室6

入館者 24,072名（有料 21,636名）

・企画展「遊びの美」 展示室1・2

2022年12月17日（土）～2023年2月5日（日） 展示日数36日間

同時開催「山水」 展示室5

「除夜釜－新年を迎える－」 展示室6

入館者 22,426名（有料 20,153名）

・企画展「仏具の世界－信仰と美のかたち－」 展示室1・2

2023年2月18日（土）～3月31日（金） 展示日数36日間

同時開催「西田コレクション受贈記念 I I M A R I」 展示室5

「花どきの茶」 展示室6

入館者 22,493名（有料 20,637名）

なお、近年外国人入館者の割合が顕著な増加傾向を示していたが、2020年度から新型コロナウイルスの影響で激減した。過去6年間の年間平均の推移は以下の通り。

2017年度	23.7%
2018年度	26.1%
2019年度	27.3%
2020年度	4.1%
2021年度	3.8%
2022年度	18.8%

海外からの要人の往来が増加するにつれ、当館での受け入れも昨年より増加した。在京外国公館からの入館者数には前年に引き続き大きな変動はなかった。

（2）日本庭園

17,000平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ4棟の茶室や点在する約150件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。本年度も、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。特に、専門の樹木医に約1千本の樹木を対象に本格的な点検を依頼し、危険と判断された木や枝について、伐採または保全措置を講じることを進めた。

また2013年10月より、原則毎月木曜日に1棟ずつ実施していた一般来館者向けの茶室見学会は、新型コロナウイルス流行に伴い2020年度から中止していたが、本年9月より再開した。

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟9年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力は例年通り行った。定期会合（オンライン開催）を通じた意見交換などの活動に参加。昨年につき、新型コロナウイルスの流行が落ち着いた紅葉の時期には、例年通り茶室周辺の茶庭の開放とTwitterフォトギャラリーを実施。美術館入館が予約制となった中でも、昨年同様の投稿があり、身近に自然の移り変わりを楽しむ場としてのニーズが逆に高まっているように感じられた。

（3）ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

本年度、新たに製作したオリジナル商品は6品目13種類。卓上カレンダーを新発売し、大型版カレンダーと共に販売。3年ぶりに「燕子花展」はスケジュール通りの日程で開催され、ショップも活気を感じる事が出来た。

（4）喫茶店

庭園内に設置されたNEZUCAFÉは、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた

新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き座席数を約半分に減らし、座席間のアクリル板を設置、さらに閉店時間を30分早めて、店内の掃除・消毒を徹底できるようにした。メニューは軽食類、デザートなどの品数を絞っての提供となっている。

2. 美術品の収集、保管及び修理

(1) 美術品の購入

本年度、下記の美術品（美術資料）を購入した。

遠州袋棚 1基

(2) 美術品の寄贈受入

本年度、美術品の寄贈受入はなかった。

(3) 美術品の寄託受入

本年度、美術品の寄託受入はなかった。

(4) 美術品の保管

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

(展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対する、トラップを用いたモニタリング調査を、年間2回（5月16日～6月17日、9月14日～10月19日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防霉作業を、年間4回（4月4日～6日、4月9日、10月19日～21日、2月7日～8日）行った。
- ③ 展示ケース等の展示什器を保管する備品庫1の簡易除塵防霉及び簡易燻蒸（清掃及び文化財害虫用薬剤散布）を年間1回（5月17日～18日）行った。
- ④ 修理完了作品および虫害の可能性のある作品や什器類の被覆燻蒸施工を、年間2回（5月16日～19日、9月24日～26日）行った。
- ⑤ 壁付展示ケース及び移動ケースのメンテナンス作業を、年間3回（10月21日、12月6日、2月7日）行った。
- ⑥ 展示ケース内の環境を確認するため、パッシブインジケータを用いた酸・アルカリの濃度計測を、年間2回（9月22日～24日、12月21日～23日）行った。
- ⑦ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、10月21日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計24台のバッテリー交換を行った。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫の虫害に対する、トラップを用いたモニタリング調査を、年間2回（5月16日～6月17日、9月14日～10月19日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、収蔵庫・前室に対し大規模清掃を年間1回（11月16日）、除塵防霉作業を年間1回（3月22日～24日）実施し、展示仮置場・前室に対し除塵防霉作業を年間1回（1月12日～13日）実施。更に写場・前室に対し除塵防霉作業を年間1回（7月21日～22日）実施した。
- ③ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、10月21日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計15台のバッテリー交換を行った。

(5) 美術品の修理

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- | | | | |
|---|--------------------------------------|-------|---------|
| ① | 国庫補助修理 | | |
| | 重要文化財 絹本墨画羅漢図 〈／ (第五諾矩尊者)〉 | 1 幅 | 半田九清堂 |
| | 国宝 漁村夕照図 | 1 幅 | 岡墨光堂 |
| ② | 自費修理 | | |
| | 阿弥陀如来立像 | 1 軀 | あきかわ造仏所 |
| | 刀剣手入 | 170 振 | 本阿弥雅夫 |
| | 誰が袖蒔絵三味線 | 1 棹 | きむら |
| | 仕覆マット装 | 3 点 | 修護 |
| | (瀬戸正木手茶入 銘 正木 付属品「白地角竜金襴」「銀毛織」「清水裂」) | | |

3. 調査研究

(1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品に関わる調査・研究を行い、新たな知見を、後記の通り展覧会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要および所蔵品図録を出版した。所蔵品図録では、2020 年度より「新蔵品選」全 12 冊 (予定) の刊行を開始、今年度は第 3 冊として「書蹟」、第 4 冊として「漆工」を発行した。また、2021 年度に当館顧問・西田宏子より寄贈を受けた陶磁器をはじめとする工芸品 169 件のうち 132 件を掲載した図録を刊行した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第 14 号 特集 根津美術館の仏像』
2022 年 3 月 31 日発行 800 部

② 所蔵品図録

『根津美術館 新蔵品選 書蹟』 2022 年 7 月 16 日発行 3,000 部
『根津美術館 新蔵品選 漆工』 2022 年 9 月 10 日発行 2,500 部
『受贈記念 海をこえて、今ここに 西田コレクションのうつわ』
2023 年 2 月 18 日発行 2,000 部

③ 特別展図録

『将軍家の襖絵』
2022 年 9 月 16 日発行 2,000 部

(2) データベース

2009 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイトを通年で 1 名雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵品データベースの整備や修正を行うことで、図書管

理体制の充実化を図った。アルバイト2名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、一般書籍の曝書（蔵書点検）とデータの見直し、及び修正を終了した。また、海外の発掘報告書に新たな分類記号を付与し、保存管理の効率化を図った。

- ② 美術館・博物館など229機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など666冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、191冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

・展覧会図録、学術研究誌および単行本上に、下記の通り、当館学芸員が研究成果を発表した。

- 野口 剛 「足利將軍邸会所の名所絵襖について」(展覧会図録『將軍家の襖絵』山口県立美術館・根津美術館)
「円山応挙の人物画 ―モデルとしての中国絵画と画法研究―」(『国華』1523号)
「鈴木其一筆 雑画卷」(『国華』1528号)
「三十六歌仙和歌短冊貼交屏風」(『根津美術館紀要 此君』14号)
- 本田 諭 「回顧と展望 日本 中世九 美術」(『史学雑誌』131編5号、史学会)
「北魏・普泰二年銘『菩薩三尊像』について」(『根津美術館紀要 此君』14号)
- 玉井あや 「金属糸織物の成分分析に関する一試論：蛍光X線分析による金属箔の成分分析を中心に」(『東京藝術大学美術学部論叢』19号、東京藝術大学美術学部)
「根津美術館蔵《角倉金襴》の製作年代に関する一考察」(『根津美術館紀要 此君』14号)

・館外の研究・教育機関および一般社団法人の依頼により、下記の通り、当館学芸員が講演を行った。

- 西田宏子 山梨近代人物館 演題「根津嘉一郎の美術品蒐集」
- 松原 茂 一般社団法人 国宝修理装飾師連盟 演題「書の切断と改装」
- 玉井あや 公益財団法人 泉屋博古館 演題「根津美術館の古代中国青銅器」

・文部科学省・文化庁・教育委員会、独立行政法人および公私立の博物館・美術館などの要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、購入、修理、技術保存、館の運営に関わる会議に委員として参画した。

- 西田宏子 佐賀県文化財保護審議会
Dresden Project (ドイツ・ドレスデン市にあるアウグスト王蒐集日本磁器の目録作成)
- 松原 茂 三の丸尚蔵館管理運営懇談会
三の丸尚蔵館の開館準備有識者会議
東京国立博物館 有形文化財買取協議会 (常任委員)
- 野口 剛 文化庁 登録美術品評価会
- 本田 諭 文化庁 文化財買取評価会
栃木県立博物館 資料評価会
足利市文化財専門委員会
宇都宮市文化財保護審議委員会
- 永田智世 文化庁 文化財研修事業 (伝統工芸・文化財保存技術) 企画選定委員会

- ・文化庁、独立行政法人、公私立の博物館・美術館および研究者の要請により、下記の通り、当館学芸員が、学術研究に参画した。

松原 茂 東京国立博物館 客員研究員
 本田 諭 栃木県立博物館 調査研究協力員
 永田智世 文化庁文化財第一課 非常勤調査員
 三嶋大社御神宝太刀奉製委員会 調査記録

- ・公益財団法人などより、下記の通り、当館学芸員が調査研究のための助成金を支給された。

永田智世 鹿島美術財団 美術に関する調査研究の助成
 研究課題「初代・飯塚桃葉と十八世紀の江戸文化 根津美術館蔵『百草蒔絵葉
 簞笥』を中心に」
 法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点「能楽の国際・学際的研究拠点」
 公募型共同研究の助成
 研究課題「能楽意匠」の研究—基本と変容の検証—
 研究代表 門脇幸恵（女子美術大学非常勤講師）

（5）美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、かつ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 40 件の研究に協力した。

[2022 年]

4 月 24 日	国文学研究資料館（1 名）	「酒呑童子絵巻」 他 2 件
5 月 12 日	板橋区立美術館（1 名）	「花鳥図屏風」 椿椿山筆
5 月 25 日	中之島香雪美術館（1 名）	「雲竜堆朱盆」 他 3 件
5 月 28 日	大阪電気通信大学（4 名）	茶室 1 件
5 月 29 日	大阪電気通信大学（4 名）	茶室 1 件
6 月 3 日	石川県立美術館（1 名）	白綾着付水仙丸模様浮織 他 1 件
6 月 8 日	栃木県立博物館（4 名）	重要文化財「大般若経 卷第二十三（和銅五年長屋王願経）」 他 4 件
6 月 8 日	京都国立博物館（1 名）	重要文化財「青磁竹子花入」 他 1 件
6 月 8 日	京都国立博物館（2 名）	重要文化財「堅手茶碗 銘 長崎」 他 5 件
6 月 10 日	東京国立博物館（5 名）	能面 16 件
6 月 19 日	大阪電気通信大学（5 名）	茶室 1 件
6 月 29 日	栃木県立博物館（2 名）	重要美術品「瑜伽師地論卷第三十四（行信願経）」
6 月 30 日	東京国立博物館（2 名）	重要文化財「五百羅漢図」 明兆筆
7 月 15 日	山口県立美術館（1 名）	国宝「鶉図」 伝李安忠筆 他 2 件
7 月 20 日	神戸市立博物館（2 名）	重要文化財「風雨山水図」 伝夏珪筆 他 2 件
7 月 20 日	東京大学（2 名）	「赤楽茶碗 銘 緋威」 他 5 件
7 月 29 日	東京国立博物館（4 名）	能面 19 件
7 月 30 日	群馬県立女子大学（3 名）	「五尊仏像」
8 月 4 日	兵庫陶芸美術館（1 名）	「丹波飴釉手桶形水指」

8月17日	東京国立博物館 (3名)	能面 21件
9月2日	東京国立博物館 (1名)	重要文化財「色絵山寺図茶壺」野々村仁清作 他1件
9月27日	筑波大学 (3名)	「播座茶入」 他5件
9月28日	同志社大学 (1名)	重要美術品「拾遺愚草抄」 他3件
10月10日	国文学研究資料館 (1名)	「酒呑童子絵巻」 他1件
10月18日	明星大学 (1名)	「兜率天曼荼羅」
10月21日	九州国立博物館 (1名)	重要文化財「藤花図屏風」円山応挙筆
11月15日	岡山県立博物館 (1名)	「備前緋襷鶴頸花入」 他1件
11月18日	神奈川県立歴史博物館 (2名)	重要文化財「観瀑図」芸阿弥筆ほか 他12件
11月25日	五島美術館 (2名)	「伊賀耳付花入 銘 寿老人」 他9件
11月26日	東京国立博物館 (4名)	能面 19件
12月7日	東京国立博物館 (4名)	能面 16件
12月14日	武田科学振興財団杏雨書屋 (4名)	「百草蒔絵葉篋」飯塚桃葉作
12月17日	福井県立歴史博物館 (2名)	重要文化財「青井戸茶碗 銘 柴田」

[2023年]

1月25日	東京国立博物館 (1名)	「文覚上人像」冷泉為恭筆 他2件
2月7日	MIHO MUSEUM (2名)	重要美術品「熊野曼荼羅」 他1件
2月23日	東京国立博物館 (2名)	能面 12件
3月1日	同志社大学 (1名)	重要文化財「龍巖徳真墨蹟」 他2件
3月14日	琉球文化財研究室 (3名)	「雲龍堆黄盆」 他1件
3月21日	五島美術館 (1名)	「西行物語絵巻」
3月26日	ふくやま芸術文化財団 (1名)	重要美術品「五徳義御書巻」
		計40件 閲覧者87名 作品総数200件

4. 教育普及

(1) 催事

本年度前半は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行っていた展覧会に関連する館内外の講師による講演会、および担当学芸員によるスライドレクチャーを中止したが、特別展「将軍家の襖絵」よりスライドレクチャーを再開した。開催実績および出席者数は下記の通りである。

- ・特別展「将軍家の襖絵 一屏風絵でよみがえる室町の華一」(第1回) 11月8日(火) 11:30~12:15
出席者数 54名
- ・特別展「将軍家の襖絵 一屏風絵でよみがえる室町の華一」(第2回) 11月25日(金) 11:30~12:15
出席者数 61名
- ・企画展「遊びの美」(第1回) 2023年1月13日(金) 11:30~12:15
出席者数 47名
- ・企画展「遊びの美」(第2回) 2023年1月20日(金) 11:30~12:15
出席者数 47名
- ・企画展「仏具の世界 一信仰と美のかたち一」(第1回) 3月3日(金) 11:30~12:15
出席者数 39名
- ・企画展「仏具の世界 一信仰と美のかたち一」(第2回) 3月17日(金) 11:30~12:15
出席者数 43名

加えて、コロナ禍により 2020 年度より中止していた以下の有料の特別催事を、実施形態を見直したうえで再開した。

・「現代茶人の茶席」 於弘仁亭

10 月 6 日（木） 杉本博司氏（現代美術家）

11 月 11 日（金） 根津公一（根津美術館 理事長・館長）

各日定員 50 名（10 名×5 席） 参加費 8,000 円 申込者 100 名、総参加者 99 名

・「茶杓をけずってみよう」

11 月 25 日（土） 講師：池田泰輔氏（竹楽会講師・竹芸家）

定員 20 名（10 名×2 回） 参加費 10,000 円 申込者 20 名、参加者 20 名

・「西田コレクション受贈記念茶会 一海をこえて、今ここに」 於披錦斎

3 月 18 日（土） 定員 65 名（13 名×5 席） 参加費 5,000 円 申込者 65 名、参加者 65 名

また、企画展「遊びの美」の期間中に、地下 1 階講堂で雅楽演奏の無料の催事を開催した。これは、東京藝術大学の” I LOVE YOU” プロジェクトから助成を受けている雅楽専攻学生（講師・卒業生含む）の「雅楽と社会空間が会う」プロジェクトからの提案を受けたもので、参加費無料の音楽催事としては新装開館後初の試みとなった。感染防止に配慮し、15 分程度の演奏を午前と午後の 2 回行った。

・1 月 7 日（土） 笙・箏・龍笛・琵琶・箏による合奏

・朗詠「嘉辰」・「平調音取」・「越殿楽 残楽三返」

午前参加者数 119 名

午後参加者数 105 名

・1 月 29 日（日） 笙独奏 「双調調子」

午前参加者数 68 名

午後参加者数 80 名

（2）インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<https://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれ PC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は 1,406,218 アクセス（昨年度 949,425 アクセス）、ユーザー数は 991,046 名（昨年度 639,968 名）と、新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年度の水準まで回復した。また、ユーザーのうち日本語以外の言語環境が占める割合も約 12%と、2019 年度の約 15%に近づいた。また日本以外の地域からのアクセスは約 8%で、これは 2019 年度の水準に戻った。

ウェブサイトに次ぐ情報発信ツールとして利用している Facebook のフォロワー数は期初の約 41,000 名から約 42,000 名に、Twitter でのフォロワー数は期初の約 42,000 名から約 49,000 名となった。9 月からは新たに Instagram の運用を開始し、約 3700 名のフォロワーを得た。これらの媒体では、展示作品に関する投稿や、庭園の季節の見どころなどの情報の投稿を、英語も含めて積極的に行った。

（3）プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫

したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。インバウンドの減少に伴うニーズ減はまだ解消していないが、国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に引き続き努めた。また、タイムリーな情報提供と環境負荷の低減の観点から、希望者に対しては広報資料のメール配信を引き続き行っている。

(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動に努めた。

(5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日（年度内7回）に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。2022年度前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大のため、特別展での特別内覧会及びレセプションは開催を差し控えたが、徐々に感染状況が落ち着いてきた2月開幕の「仏具の世界」展の同時開催展「西田コレクション受贈記念 I: IMARI」に関しては、小規模なレセプションを展示観覧のみで行った。

・特別展「燕子花図屏風の茶会」：4月15日（金）

記者内覧会 出席者 49名

・企画展「阿弥陀如来—浄土への憧れ—」：5月27日（金）

記者内覧会 出席者 40名

・企画展「よめないけど、いいね！—根津美術館の書の名品—」：7月15日（金）

記者内覧会 出席者 31名

・企画展「蔵出し蒔絵コレクション」：9月9日（金）

記者内覧会 出席者 43名

・特別展「将軍家の襖絵」：11月2日（水）

記者内覧会 出席者 35名

・企画展「遊びの美」：12月16日（金）

記者内覧会 出席者 49名

・企画展「仏具の世界—信仰と美のかたち—」：2月17日（金）

記者内覧会 出席者 42名

(6) 施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設などから要望がある場合も送付サービスを行っている。

(7) 他美術館との協力

・例年実施してきた三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンは各館と協議の結果中止とした。

・一方、三井記念美術館とは、「大蒔絵展」と当館の「蔵出し蒔絵コレクション」展の開催が重なる期間中、「#秋は蒔絵」というハッシュタグを使ったTwitter投稿を行うコラボレーションを実施し、

互いの展覧会の周知に協力を行った。

- ・泉屋博古館@東京からの呼びかけで、同館の中国古代青銅器展での AR アプリを使ったプロモーションに協力。当館の双羊尊の画像も提供し、松岡美術館との 3 館スタンプラリーを行った。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

(8) 地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年 2 回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課 Go!クラブ」の児童の展示見学受け入れが、新型コロナウイルス感染状況に配慮しながらまずは 4 年生以上を対象として今年度から再開することができた。参加人数は多くても 10 名程度と少なく設定しているが、今後は対象学年も拡大していく予定である。
- ・コロナ禍で開催を見送っていたが、1 月 27 日に港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と企画展「遊びの美」の見どころについて担当学芸員が講演を行い、その後参加者が展覧会を見学した。

(9) 有料広告

開催 7 展覧会で新聞広告を実施した。また、2022 年からは広告媒体として近年美術館でも頻繁に利用されるようになってきている SNS 広告を展覧会の内容、ビジュアルとの親和性を考慮しつつ 2 展覧会において実施した。

- ・特別展「燕子花図屏風の茶会」：朝日夕刊
- ・企画展「阿弥陀如来—浄土への憧れ—」：朝日夕刊
- ・企画展「よめないけど、いいね！—根津美術館の書の名品—」：朝日夕刊
- ・企画展「蔵出し蒔絵コレクション」：朝日夕刊、Facebook、Instagram
- ・特別展「将軍家の襖絵—屏風絵でよみがえる室町の華—」：朝日朝刊・日経夕刊・読売夕刊
- ・企画展「遊びの美」：朝日夕刊、Facebook、Instagram・企画展「仏具の世界—信仰と美のかたち—」：朝日夕刊

また、2023 年の展覧会を紹介するために、12 月発行の『日経おとなの OFF 2023 年絶対に見逃がせない美術展』に年間展覧会スケジュールを掲載した（カラー、1 頁）。

本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター（チラシ配布用ポケット付）掲示を、7 展覧会において、それぞれ 2 週間ずつ実施した。これを通じ、同駅利用者に毎回 300 枚～400 枚程度のチラシを配布することができた。

(10) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009 年に開始した会員組織である。2012 年の第 1 回の制度改定に続き、美術館新創開館 10 周年を迎えた 2019 年に第 2 回制度改定を行なった。結果、2022 年度末の会員数は 783 名となった。

(11) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、2022 年度は新たに 682 件のメールアドレス登録があり、2022 年度末現在の会員数（メールアドレス

登録件数)は9,710名となった。本年度は7回メールマガジンを配信した。

(12) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1会期5万5千円の会費で、年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。

本年度は昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症流行を受け、会員制の茶会・講座は行わなかったが、コロナ禍が下火になってきた状況をみつつ、2023年から再開するべく、会員の募集要項(年会費、茶会と講座の実施回数、募集人数)を見直したうえで、2023年度の新規会員の募集を行った。また、2023年度に向けて、「臨時青山茶会」と称した茶会を、1席の定員数を絞り、茶券はすべて販売制としたうえで、2回開催した。(於弘仁亭)

- ・10月8日(土)(席主:大日本茶道学会 会長 田中仙堂氏、展覧席:根津美術館)参加62名
- ・3月4日(土)(席主:裏千家業躰 戸田宗寛氏、展覧席:根津美術館)参加63名
各日定員63名(9名×7席)参加費15,000円 申込者各63名

(13) 美術品の館外貸出

以下の展覧会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・特別展「大蒔絵展—漆と金の千年物語」 MOA美術館
会期:2022年3月26日(土)~5月9日(月)
作品:50116 重要文化財 秋野蒔絵手箱 1合 計1件1点
- ・第30回企画展「名所発見、再発見!~浮世絵でめぐる三重の魅力~」 三重県総合博物館
会期:2022年4月16日(土)~2022年6月12日(日)
作品:10354 伊勢参宮図屏風 6曲1隻 計1件1点
- ・特別展「大安寺のすべて—天平のみほとけと祈り—」 奈良国立博物館
会期:2022年4月23日(土)~2022年6月19日(日)
作品:10085 重要文化財 絹本着色仏涅槃図 1幅 計1件1点
- ・「歌枕 あなたの知らない心の風景」 サントリー美術館
会期:2022年6月29日(水)~2022年8月28日(日)
作品:10325 吉野龍田図 6曲1双
10138 鏡山図 伝藤原家隆画・伝姉小路長隆賛 1幅
00004 今城切 藤原教長筆 1幅
00003 烏丸切 伝藤原定頼筆 1幅
00003 箔切 伝藤原為家筆 1幅 計5件6点
- ・開館四十周年記念特別企画展
「鑑真和上と下野薬師寺~天下三戒壇でつながる信仰の場~」 栃木県立博物館
会期:2022年9月17日(土)~2022年10月30日(日)
作品:00140 重要文化財 大般若経卷第二十三(和銅五年長屋王願経) 1帖
00144 重要文化財 大般若経卷第二百六十七(神亀五年長屋王願経) 1巻
00172 重要美術品 根本説一切有部毗奈耶雜事卷第三十九(中聖武) 1巻
00181 重要美術品 瑜伽師地論卷第二十四(五月一日経) 1巻
00182 重要美術品 瑜伽師地論卷第二十四(行信願経) 1巻 計5件5点
- ・企画展「加賀宝生のすべて—能面と能装束—」 石川県立美術館
会期:2022年9月17日(土)~2022年10月23日(日)

- | | | | |
|---|-------------------|----------|-----------|
| 作品：70177 | 白練貫地柳蔦模様描絵 | 1 領 | |
| 70169 | 白綾着付水仙丸模様浮織 | 1 領 | 計 2 件 2 点 |
| ・「雪舟と狩野派」 山口県立美術館 | | | |
| 会期：2022 年 9 月 16 日（金）～10 月 16 日（日） | | | |
| 作品：10315 | 猿曳図屏風 伝狩野元信筆 | 6 曲 1 隻 | 計 1 件 1 点 |
| ・「将軍家の襖絵」 山口県立美術館 | | | |
| 会期：2022 年 9 月 16 日（金）～10 月 16 日（日） | | | |
| 作品：10394 | 国宝 鶉図 伝李安忠筆 | 1 幅 | |
| 10391 | 重要文化財 竹雀図 伝牧谿筆 | 1 幅 | |
| 10169 | 重要文化財 観瀑図 芸阿弥筆 | 1 幅 | 計 3 件 3 点 |
| ・特別展「大蒔絵展—漆と金の千年物語」 三井記念美術館 | | | |
| 会期：2022 年 10 月 1 日（土）～11 月 13 日（日） | | | |
| 作品：50681 | 夕顔蒔絵板戸 柴田是真・三浦乾也作 | 2 面 | 計 1 件 2 点 |
| ・特別展「京（みやこ）に生きる文化 茶の湯」 京都国立博物館 | | | |
| 会期：2022 年 10 月 8 日（土）～12 月 4 日（日） | | | |
| 作品：40346 | 重要文化財 青磁竹子花入 | 1 口 | |
| 40423 | 重要美術品 井戸香炉 銘 此の世 | 1 口 | 計 2 件 2 点 |
| ・神戸市立博物館開館 40 周年記念特別展 | | | |
| 「よみがえる川崎美術館—川崎正蔵が守り伝えた美への招待—」 神戸市立博物館 | | | |
| 会期：2022 年 10 月 15 日（土）～2022 年 12 月 4 日（日） | | | |
| 作品：10541 | 重要文化財 風雨山水図 伝夏珪筆 | 1 幅 | |
| 10321 | 重要美術品 桜花蹴鞠図屏風 | 6 曲 1 双 | 計 2 件 3 点 |
| ・特別展「西行—語り継がれる漂泊の歌詠み—」 五島美術館 | | | |
| 会期：2022 年 10 月 22 日（土）～12 月 4 日（日） | | | |
| 作品：00450 | 枅形本曾丹集切 | 伝西行筆 1 幅 | |
| 00080 | 出雲切（未詳歌集断簡） | 伝西行筆 1 幅 | |
| 00079 | 落葉切（熊野懐紙断簡） | 伝西行筆 1 幅 | |
| 00004 | 白河切（後撰和歌集断簡） | 伝西行筆 1 幅 | 計 4 件 4 点 |
| ・式年造替記念特別展「春日大社 若宮国宝展—祈りの王朝文化—」 奈良国立博物館 | | | |
| 会期：2022 年 12 月 10 日（土）～2023 年 1 月 22 日（日） | | | |
| 作品：50481 | 春日若宮大般若経厨子 | 1 基 | |
| 00286 | 春日若宮大般若経 卷第六百 | 1 卷 | |
| 00239 | 春日若宮大般若経 卷第四百七十五 | 1 帖 | 計 3 件 3 点 |
| ・特別展「東福寺」 東京国立博物館 | | | |
| 会期：2023 年 3 月 7 日（火）～5 月 7 日（日） | | | |
| 作品：10004 | 重要文化財 五百羅漢図 明兆筆 | 2 幅 | |
| 10578 | 重要美術品 白衣観音図 赤脚子筆 | 1 幅 | |
| 10577 | 一葉観音図 啓釈筆 与可心交賛 | 1 幅 | 計 3 件 4 点 |
| ・「椿椿山展 軽妙淡麗な色彩と筆あと」 板橋区立美術館 | | | |
| 会期：2023 年 3 月 18 日（土）～4 月 16 日（日） | | | |
| 作品：10322 | 花鳥図屏風 椿椿山筆 | 6 曲 1 双 | 計 1 件 2 点 |

合計 15 ヶ所 35 件 40 点

(14) 画像の貸出

本年度は、170 件の申請を受け、817 件の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図屏風 56 件、那智瀧図 6 件、夏秋溪流図屏風 5 件、漁村夕照図 5 件、双羊尊 5 件

(15) 施設の貸与

本年度は、新型コロナウイルス感染症流行を受け、館外向けの講堂・茶室等の施設貸与は一切行わなかった。

以下の茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・茶会（茶室、講堂）

[2022 年]	主となる団体または茶会名	用途	人数
4 月 24 日	白栲会	茶会	61 名
4 月 29 日	世界文化社	茶会	94 名
5 月 3 日	ハッピーバレイ	茶会	25 名
5 月 14 日	(有) パル	茶会	33 名
5 月 14 日	増田 崇	茶会	16 名
5 月 15 日	〃	茶会	50 名
5 月 28 日	公益財団法人 上田流和風堂	茶会	85 名
11 月 3 日	三田福茶会	茶会	62 名
11 月 6 日	茶禅一味	茶会	22 名
11 月 19 日	笑諒庵	茶会	72 名
11 月 20 日	松翠会	茶会	63 名
11 月 23 日	なごみの会	茶会	78 名
11 月 26 日	東京芳心会	茶会	93 名
11 月 27 日	〃	茶会	96 名
12 月 2 日	なごみ茶会	茶会	115 名
[2023 年]			
2 月 24 日	星窓茶道茶花教室	茶会	10 名
2 月 25 日	〃	茶会	25 名
3 月 27、28 日	大師会	茶会	400 名
			計 1,400 名

II 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

Ⅲ 庶務の概要

1. 役員

2023年3月31日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界	
					関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	2022年5月25日 (2012年4月1日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	岡橋 輝和	2022年5月25日 (2020年6月26日)	山九株式会社 社外取締役	なし	〃
理事	非常勤	島尾 新	2022年5月25日 (2012年4月1日)	学習院大学 教授	学校教育	なし
〃	非常勤	渡邊 喜雄	2022年5月25日 (2014年5月30日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	2022年5月25日 (2014年5月30日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常勤	松原 茂	2022年5月25日 (2014年5月30日)	公益財団法人根津美術館 副館長	なし	〃
〃	常勤	柳瀬 茂	2022年5月25日 (2018年5月28日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
理事	常勤	野口 剛	2022年5月25日 (2022年5月25日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	なし	〃
〃	非常勤	佐野 みどり	2023年3月15日 (2023年3月15日)	國華主幹	なし	
〃	非常勤	前田 晃伸	2023年3月15日 (2023年3月15日)	株式会社みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問	NHK 元会長	2023年1月
〃	非常勤	森 浩生	2023年3月15日 (2023年3月15日)	森ビル株式会社 取締役副社長執行役員	なし	
〃	非常勤	安田 守	2023年3月15日 (2023年3月15日)	安田不動産株式会社 常務取締役	なし	
		12名				
監事	非常勤	後藤 康雄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	中瀬 雅通	2020年6月26日 (2013年5月29日)	株式会社三陽商会 相談役	なし	〃
		2名				
評議員	非常勤	小林 喬	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 特別顧問	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	2020年6月26日 (2012年4月1日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃

〃	非常勤	根津 嘉澄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	秋山 智史	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	安田 正	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	山崎 妙子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	2020年6月26日 (2014年3月19日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	2013年7月
〃	非常勤	河田 正也	2020年6月26日 (2017年5月24日)	日清紡ホールディングス(株) 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	池田 康夫	2021年3月27日 (2021年3月27日)	学校法人根津育英会武蔵学園 学園長 兼 副理事長	学校教育	なし
		12名				

2. 職員

2023年3月31日現在

職名	勤務	氏名	就職年月日	担当事務
館長	非常勤	根津 公一	2000年1月4日	総括
副館長	常勤	松原 茂	2008年10月1日	日本書画史・総括
学芸部長 兼学芸第一課長	常勤	野口 剛	2008年10月1日	近世絵画・学芸部総括・情報管理
学芸第二課長	常勤	本田 諭	2018年4月1日	仏教美術・中世絵画・環境整備
学芸第一課	常勤	下村 奈穂子	2014年9月1日	陶磁史・茶道・学芸庶務
学芸第一課	常勤	玉井 あや	2020年4月1日	染織史・茶道・学芸庶務
学芸第二課主任	常勤	永田 智世	2018年4月1日	漆工史・茶道・学芸庶務
学芸第二課	常勤	福島 洋子	2009年4月1日	墨跡・図書管理・学芸庶務
学芸部次長 [広報担当]	常勤	所 純子	2012年12月1日	広報全般
学芸部広報課長	常勤	村岡 香代子	2013年1月1日	広報
学芸部広報課	常勤	荒川 麻美子	2009年4月1日	ショップ・画像管理
管理部長	常勤	柳 瀬 茂	2018年1月1日	管理部 総括

管理部次長	常勤	鈴木康生	2001年4月11日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常勤	藤江 暁	2019年10月1日	設備管理・顧客サービス
管理部	常勤	田中智子	1990年9月1日	総務
管理部	常勤	松井麻美	2009年4月1日	顧客・会計
管理部	常勤	石川彩花	2022年8月1日	顧客
管理部	常勤	高室 修	1975年3月1日	施設管理
		職員 18 名	他に臨時職員 24 名	

顧問	非常勤	岡橋輝和	2020年6月26日	全般
顧問	常勤	西田宏子	2014年6月1日	学芸部
顧問	非常勤	宇田川 真紀雄	2016年4月1日	全般
		顧問 3 名		

3. 役員会

(1) 理事会

開催日 2022年5月11日(水)

会議形式 ウェブ会議

議事事項

第1号議案 2021年度事業報告の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第2号議案 2021年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第3号議案 定款改正の件

事務局より、評議員の選任及び解任に関する条文について定款を変更する旨、説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

開催日 2022年5月25日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議案事項

第1号議案 理事長選任の件

松原理事から、理事長として根津公一氏を推薦する旨の提案がなされ、審議の結果、根津公一氏を理事長に選任することを、出席理事全員で承認可決した。

第2号議案 常務理事選任の件

松原理事から、常務理事として岡橋輝和氏を推薦する旨の提案がなされ、審議の結果、岡橋輝和氏を常務理事に選任することを、出席理事全員で承認可決した。

開催日 2022年9月28日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 特定費用準備資金等取扱規則の制定

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 2023年度展覧会スケジュールの件

松原理事より、本件について報告があった。

② 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

③ 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

開催日 2023年3月8日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2023年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第2号議案 2023年度正味財産増減予算の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第3号議案 特定費用準備資金の新たな設定の件

事務局より、新たな特定費用準備資金として、特定施設整備積立を設定することについて、内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

(2) 評議員会

開催日 2022年5月25日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2021年度事業報告の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第2号議案 2021年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第3号議案 定款改正の件

事務局より、評議員の選任及び解任に関する条文について定款を変更する旨、説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第4号議案 理事8名選任の件

議長より、本評議員会の終了を以って理事8名の任期が満了となる説明があり、根津公一氏、岡橋輝和氏、島尾新氏、渡邊喜雄氏、板倉聖哲氏、松原茂氏、柳瀬茂氏に重任を求め、新たに野口剛氏に就任を求めることを、出席評議員全員一致で承認可決した。

席上にて、根津公一氏、岡橋輝和氏、島尾新氏、渡邊喜雄氏、板倉聖哲氏、松原茂氏、柳瀬茂氏、野口剛氏が就任を承諾し、理事に就任した。

開催日 2023年3月15日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2023年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。
質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第2号議案 2023年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。
質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第3号議案 理事4名選任の件

議長の求めに応じて、理事長から、佐野みどり氏、前田晃伸氏、森浩生氏、安田守氏の4名を新任の理事に選任したいとの申し出があった。理事長は当該4名に関する説明を行った。質疑応答を経て審議の結果、出席評議員全員一致で承認可決した。この結果、理事は8名から12名に増員することとなった。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。